

2018年11月号

11月15日(木)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 266



好天つづく？…

暖かい日が続く釧路地方。

紅葉も終わり、雪も積もっていない今は北海道観光には最も中途半端な時期と言われがちですが、釧路地方などの太平洋側はこの頃から晴天が続くようになります。とはいえ、11月半ばだというのに初雪がまだないというのは、これからの本格的な冬を前にちょっと不安になりますね。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【ガマ (果穂)】
ガマ科 蒲
茶色い果穂から白毛を付けた種子が続々と顔を出し、風によって運ばれて行きます。冬季までこの姿は見られます。



【チャミダレアマタケ】
タコウキン科
弱ったハンノキの幹に寄生するキノコで、ミズゴケ湿原を過ぎた 70 番～90 番のハンノキ林に見られます。見た目よりも硬い感触です。



【エゾアカガエル】
アカガエル科 蝦夷赤蛙
多くはありませんが水辺から顔を出している時があります。繁殖期以外はほとんど鳴かず、これから春まで冬眠に入ります。



【エゾシカ】
シカ科 蝦夷鹿
繁殖の時期を迎え、オスには立派な角が生えています。人慣れしている個体は近づいても堂々としています。



【雌阿寒岳・雄阿寒岳】
木道 44 番の T 字路で北方向を眺めると、阿寒の山々が遠方に見られます。向かって左側に見えるのが雌阿寒岳、右側の独立峰が雄阿寒岳です。双眼鏡で見ると、雌阿寒岳からは白い噴気が昇っているのもわかります。

○表紙の写真 上：ミズゴケ湿原 中右：フキノトウ 中左：モズ 下：ツルウメモドキの実

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

草木の葉はすっかり枯れ落ち、冬へ向かって季節は歩を進めています。見通しのよくなった木々とカラっとした空気によって晴天が多くなり、バードウォッチング日和が続いています。ここ最近、南へ下る旅鳥や冬鳥の姿を見る機会が増えてきており、運が良ければオオワシも見られます。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸出しております。お気軽に職員までお申し付けください。



【モズ】 夏鳥(一部越冬?)
モズ科 百舌鳥
夏鳥ですが温根内では秋から春に見られます。よく通る声なので存在にはすぐ気づきます。VCの周りで昆虫類を狙っている時も。



【オオハクチョウ】 旅鳥(一部越冬) カモ科 大白鳥
「フォ、フォ、フォ…」という声が聞こえたら上空を探してみましょう。この姿を見ると、冬の到来を感じさせます。



【カシラダカ】 旅鳥
ホオジロ科 頭高
南へ下る途中に群れて通過していく旅鳥です。近年、個体数の減少が懸念されている種ですが、今年も温根内に来てくれました。



【トビ】 留鳥
タカ科 鶯
上空を旋回する姿は全国で見られます。黒っぽい下面とバチ型の尾羽が特徴で、タカ科の中では大きい種になります。

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥(10月15日～11月14日) 和名は日本鳥類目録第7版の順

■ヒシクイ■オオハクチョウ■タンチョウ■トビ■オジロワシ■オオワシ■ハイロチュウヒ■ノスリ■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■モズ■カケス■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒバリ■ヒヨドリ■ウグイス■エナガ■ゴジュウカラ■キバシリ■ミソサザイ■アカハラ■ツグミ■ノビタキ■セグロセキレイ■タヒバリ■アトリ■カワラヒワ■マヒワ■ベニマシコ■ウソ■シメ■カシラダカ■ミヤマホオジロ(11/7 温根内初確認) ■アオジ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆☆☆ タンチョウの親子 優しく見守ってね! ☆☆☆☆

11月に入ってから、温根内では1羽の幼鳥を連れたタンチョウの親子をよく見かけるようになりました。幼鳥はすくすくと育ってくれたようで、親と体格はほとんど変わらないくらいに成長しており、もう飛ぶこともできます。首から頭部にかけてはまだ茶色い羽毛で覆われているので、親と区別することができます。「ピューイ、ピューイ」という甘えた声を出して、まだ親について行って餌を与えてもらっています。とてもほほえましい光景ですね。鶴居村などではタンチョウの給餌が始まりつつあり、給餌が始まると日中は給餌場へ飛び立っていくと思われれます。

木道を歩いていてはったり見かけることがあります、どうか優しく見守ってあげてください。



☆☆☆☆ シリーズ ビジターセンターのお仕事 その② ☆☆☆☆

今回は前回に引き続きビジターセンター職員が普段行っている仕事をご紹介します。今回は、②自然情報の収集・発信についてです。

温根内周辺の自然は本誌でもお伝えしているように、刻々と変化していきます。このような変化を伴う自然の姿を把握し伝えていくことは難しくもあり、同時に工夫のし甲斐があって



楽しいものです。さて、私たち職員がどうやって自然情報を収集しているかという...

そうです、当然ですが実際に木道を歩いて収集しています。私が動植物の分類について知識がなかった頃は、それらの名前を一致させるだけで手いっぱいでしたが、経験を積むごとにどこに・何が・いつ見られるかということが段々わかってきました。それと同時に、毎年のように新たな発見があり、自然の奥深さを日々感じます。

こうした自然情報を皆さんに届けるための情報発信の手法には、館内で直接的に伝える手段のほか、本誌やインターネット媒体を用いても行っています。ウェブで『温根内木道 自然情報』



と検索すると、木道周辺の旬な自然情報が記されたマップも入手できます。なお、私たちが発信する内容には、「〇〇の花が咲きました!」「紅葉が綺麗です!」といったいわゆる見頃情報だけでなく、「スズメバチに注意!」といった注意喚起も含まれます。最近ではSNSが普及したこともあり、Facebookなどで当センターの情報を得てから来館される方も増えてきたように感じます。



また、館内には自然伝言板という、誰でもマジックで書き込みができるボードがあり、木道を歩いた人たちが日付と見たものを書き込んでくれる場合があります。皆さんの力を借りた情報発信手段のひとつですね。加えて、最近では子供から大人までスマホで簡単に撮影操作ができるようになったので、木道で撮った静止画や動画を片手に「これは何ですか?」と職員に尋ねて来られる方も多いです。中には、我々職員も驚くくらいの「特ダネ映像」を持ってくる人もいて、職員が知らないところでも色々な出来事が起こっていることをうかがい知ることができます。こうした多くの人からの情報提供もあり、温根内周辺の自然情報はどんどん積み重なってきています。今後は、この蓄積された情報をうまく集約して伝える方法を考えていきたいと思います。(藤原伸也)

☆☆☆☆☆ イベントのご案内 (12月) ☆☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪冬の植物を見に行こう

〔日時〕12月9日(日) 10:00~12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

湿原の植物はどうやって寒い冬を乗り越えるのでしょうか?様々な植物の越冬作戦を観察します。

~アメリカミンクにご注意~

木道上でアメリカミンクを見かける機会が増えています。アメリカミンクは「特定外来生物」です。見かけても決して触れたり餌を与えたりしないでください。



木道で餌を探るアメリカミンク

月刊 温根内通信 No.266

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: 温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間: 9:00 ~ 16:00 (4月~10月は17:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29~1/3は休館) 入館無料